

全国街路事業促進協議会
会長賞

都市計画道路 大迫田代々木線

(表彰対象者：徳山市 (財)徳山市都市開発事業団)

表彰の理由

事業実施にあたり地元商店街が協同組合を結成し、街路灯の電気料の支払いやフラワーポットの維持管理も協同組合が行うなど、極めて協力的であり、官民一体となって市民の憩いの場を創出したことが評価された。

事業のあらまし

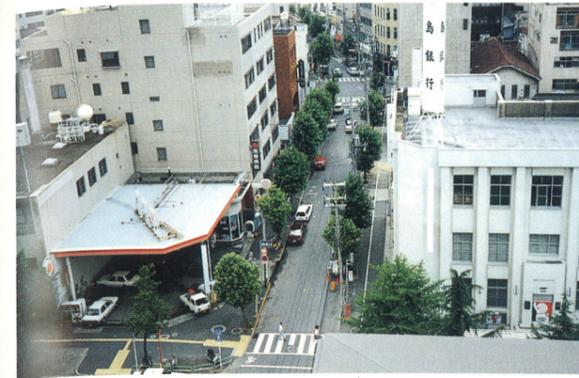
この事業は大迫田代々木線（通称平和通り）と徳山停車場線（通称御幸通り）の間を整備する事業であり、JR徳山駅東方に広がる商業業務の中心地域に位置する幹線街路である。近年、業務施設の更新が積極的に進められた店舗等も市民意識の多様化にそって個性のある近代的な意匠が取り入れられているが、既存の道路は戦災復興事業により整備されたものであり、老朽化が著しく歩道も狭く、商店街の魅力が半減していた。このため、地元の若手店主達が中心となり新しい街づくりのための動きかけがなされ、その結果、NTT-A型資金の活用により憩いの場、交流の場となるアメニティ街路が整備されたものである。

- 延長：300m
- 幅員：15m
- 事業費：1,543百万円
- 事業実施期間：昭和63年～平成元年度

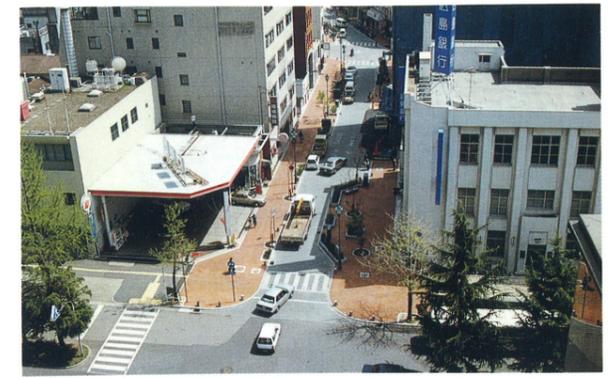


歩道部のふくらみに植樹帯の設置。クチナシ、カンツパキ、ジンチョウゲ等植栽し、景観形成を計る。四季を通して市民の目を楽しませる。

整備前



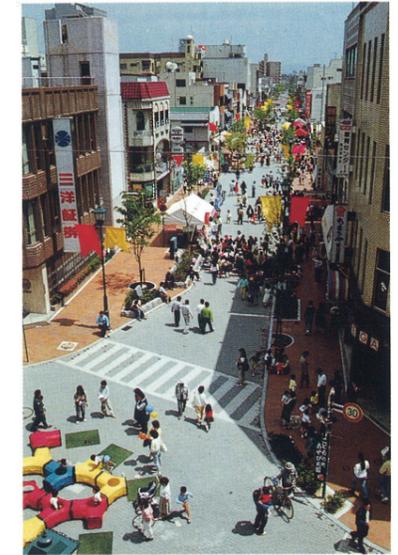
整備後



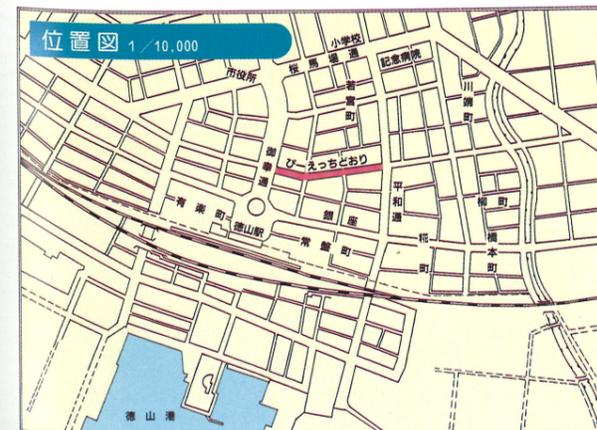
起点（御幸通り）の交差部の現況。快適な商業環境がつけられている。



「ぴーえっち通り」中心付近架空線が排除されスッキリした街並。



終点（平和通り）の現況。歩行者の安全と快適性を保つため、レンガ調セラミックスタイルを敷設。



事業遂行上の工夫

若い店主が中心で「ぴーえっちどおり協同組合」が設立。会員数約50名。歩道上のタイル、街路灯、色彩等店主と協議する。また、街路灯の電気代、花壇、フラワーポットの維持管理等商店街で負担して戴いている。年1～2回歩行者天国として各種の催し物開催。
(例：徳山こども博、ミニ四駆レース、ふれあい動物園、ピエ工の大道芸、あそび天国等)